

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築費 (国補)]	事業箇所	上野原市柵原大垣外	地区名	(主) 上野原丹波山線 (大垣外Ⅱ期工区)	事業主体	山梨県
-----	-----------------------	------	-----------	-----	-----------------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景

本路線は、上野原市柵原を起点とし、北都留郡丹波山村に至る全延長29kmの主要地方道である。当該区間は、狭小で道路線形も悪く、交通の隘路となっており、未改良区間の解消を図る必要がある。また、本路線は緊急輸送道路に指定されている地域住民の生活道路であるため、早急な整備が必要である。

②整備目標・効果

- 主要目標 ○災害に強い道路の確保
- ・危険度 (落石等) : 要対策箇所あり ※
 - ・損傷度等 (落石等) : 通行止め実績 2回 ≥ 2回以上 ※
 - ・緊急輸送道路の指定 : 有 ※
 - ・自動車交通量 : 1295台/12h (H27センサス) < 3428台/12h以上 (平日) ※
- ※評価基準値
- 副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点へのアクセス向上
- ・道路改良率 : 55.7% (R3道路現況表) < 64%未滿 ※
 - ・混雑時走行速度 : 29km/h (H27センサス) < 30km/h以下 ※
- ※評価基準値
- 副次効果 ○アクセス機能の維持
- (集落と集落を結びアクセス道路であり、1~2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる。)

(2) 整備内容

- ①整備内容 道路改良 L=330m W=5.5 (7.5) m
- ②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和9年度
- ④総事業費 約600百万円 (国費330百万円 (5.5/10) 県費270百万円 (4.5/10))
- ⑤年度別の整備内容 (事業費)
- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 令和4年度 | 道路詳細設計、用地測量 | 28 百万円 |
| 令和5年度 | 用地取得 | 12 百万円 |
| 令和6~9年度 | 道路改良工事 | 560 百万円 |

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

- ・(主) 上野原丹波山線道路改良 (大垣外工区) L=400m W=5.5 (7.0)m
- ・事業期間 平成25年度 ~ 令和元年度
- ・総事業費 C=830百万円

(3) 事業の妥当性評価

妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)

一般通行のように供する県道であり、極めて公共性が高い。

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)

県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。

③経済妥当性

総事業費	600 百万円	工期	R4~R9	基準年	R4
経済効率性	費用	529 百万円	便益 1430 百万円		
	建設費	498 百万円	走行時間短縮	1296 百万円	
	維持管理費	31 百万円	走行費用減少	79 百万円	
			交通事故減少	7 百万円	
			その他※	48 百万円	
B/C		2.7			

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益
費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

④事業実施・規模の妥当性

周辺への影響が小さく経済性に優れ、早期に工事完成が期待できる最も妥当な計画である。

⑤整備手法の有効性

現道敷地を極力利用して改良することで、影響をなるべく小さくするとともに、経済性も有効である。

⑥環境負荷等への配慮

現道工事であり、自然環境への負荷は最小限である。

⑦事業計画の熟度

上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会や地元から要望を受けている。

総合評価

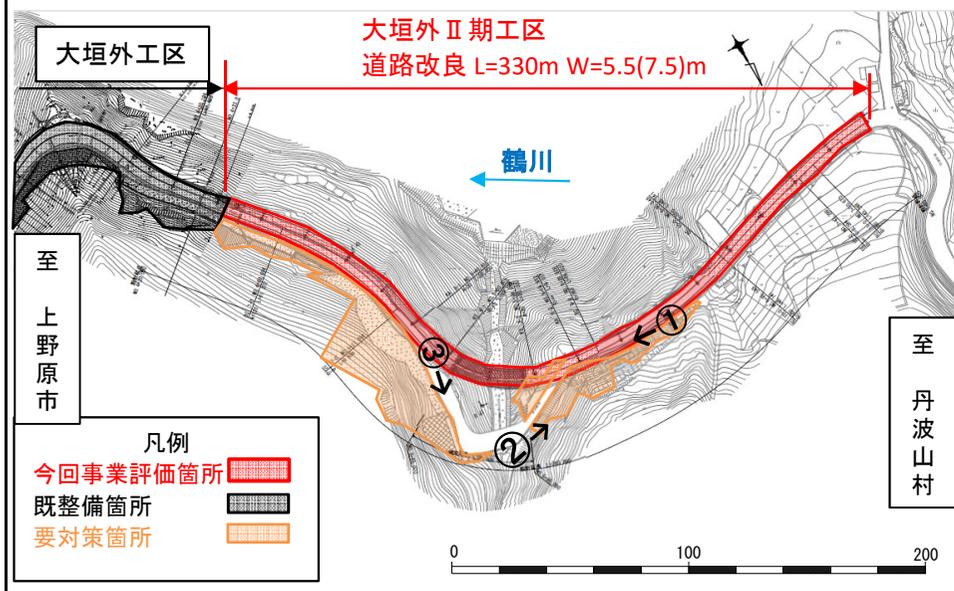
[貢献度ランク: a]

(4) 事業位置図等

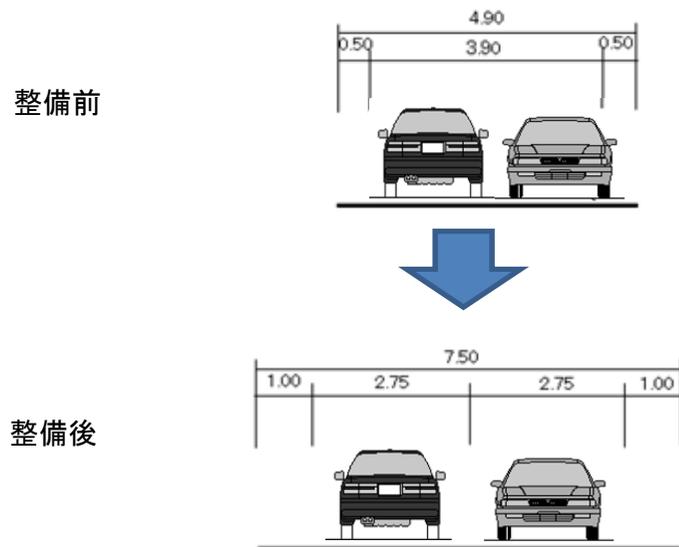


2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断図】



【写真①】



【写真②】



【写真③】

